

八上校区まちづくり協議会広報誌

# やかみ高城

第十四号

発行日：平成26年6月20日  
発行者：八上校区まちづくり協議会  
人口：2,270名(886世帯)  
男1,097名 女1,173名  
(平成26年5月末現在)

新たなまちづくり計画  
策定事業に取り組みます

八上校区まちづくり協議会  
会長 池田 正男



初夏の候、八上校区の皆さまにおかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、八上校区まちづくり協議会(以下まち協と略)の事業活動に、格別のご支援とご協力を賜り厚く感謝を申し上げます。

5月24日(土)平成26年度定期総会を開催しました。議題である平成25年度事業と一般会計収支決算の報告、及び平成26年度事業計画案、一般会計他の予算案が承認されました。また、新役員には、下記の皆さまが選ばれました。

さて、平成26年度は大きな節目の年を迎えます。それは平成22年度に採択された県民交流広場事業が最終年度5年目となり、1300万円(施設整備費1000万円、活動費300万円)の補助金が今年度終了します。現在実施しています活動費用が無くなることとなり、新たな財源を求める施策を考えねばなりません。

ついでには、篠山市の「地区まちづくり推進条例」に基づく『まちづくり計画策定事業』(人と財政的支

援)に取り組みます。この事業は、まち協が持続的な活動を行うためには、八上校区の将来ビジョンを明確にして、それを達成するための具体的な計画を策定する必要があります。校区の皆さまからご意見を頂戴して、現在の事業活動の見直しや昨年実施したアンケート調査結果などを参考にビジョンを立て、具体的な計画目標(短期・中期・長期)を設定したいと考えています。そして、平成27年度は新たな活動計画に基づく活動を実践したいと思っております。

平成26年度事業計画は、次の通りです。

- ①企画部 (平成27年1月予定)
  - ・人権・同和教育研究大会
  - ・八上城跡クリーン作戦
  - ・八上地区のまちづくり計画策定事業(市の助成事業)
  - ・八上まち協運営費用負担検討会
  - ・地域間交流を図る
- ②地域おこし部 (8月2日(土))
  - ・八上ふれあい夏祭り
  - ・八上ふるさと塾
  - ・年4回(7・10・12・2月予定)
  - ・親子の考古学体験学習
- ③福祉部
  - ・敬老会(9月15日(月・祝))
  - ・「認知症」講座 (平成27年2月予定)
- ④コミュニティ部
  - ・文化祭(11月15日(土)・16日(日))
  - ・三世代交流事業「しめ縄づくり」(12月14日(日))

- ・広報誌『やかみ高城』発行年4回(6・9・1・3月)
- ・ホームページ『やかみ高城』
- ⑤体育部
  - ・親睦運動会(10月5日(日))
  - ・三世代ランドゴルフ(7月26日(土))
- ⑥生活環境部
  - ・青パト隊による防犯パトロール(毎週1回実施)
  - ・青パト登録者講習会(7月5日(土))
  - ・護身術講座(10月予定)



八上校区まちづくり協議会定期総会  
平成26年5月24日

### 役員紹介

●会長	池田 正男	(港)	………企画部
●副会長	塚本 幸隆	(小多田一)	………地域おこし部
●計長	波多野 元治	(八上下)	………福祉部
●事務局	坂本 雅美	(殿町)	………コミュニティ部
●監事	松上 博幸	(京町)	………体育部
●部長	松元 信久	(京町南)	………生活環境部
●部長	新家 悟	(小多田二)	
●部長	池田 正男	(港)	
●部長	丹後 政俊	(小多田一)	
●部長	梶村 元秀	(渋谷)	
●部長	梶村 文敏	(渋谷)	
●部長	地主 力	(糯ヶ坪)	
●部長	田中 忠司	(渋谷)	

次に、役員交代があり、新役員、新部長を紹介いたします。  
※(太字は新役員)

### 本年度新役員紹介



副会長 塚本 幸隆  
 監事 松元 信久  
 監事 新家 悟  
 監事 丹後 政俊  
 福祉部長 梶村 元秀

### 八上校区人権・同和教育研究大会

「いいとこさがしませんか」  
企画部副部長 堀毛 貞一

平成26年1月19日(日)高城会館に於いて八上校区まちづくり協議会主催、篠山市・篠山市教育委員会・篠山人権同和教育研究会篠山地区委員会共催による八上校区人権・同和教育研究大会が実施されました。この度は酒井雅和(元中学教師、視覚障害者)様から「いいとこさがしませんか」と題して講演をいただきました。酒井講師は元中学教師で現在ハンディーキャップ(視覚障害)を背負っておられる方であることから、私どもが普段感じていない、違った側面(感性)からの人間関係(人が人として生きるためにはどうあるべ

きかを基本とした人との接し方等)について、経験を基に迫力のある話しぶりでご講演いただき、大変説得力があり感動する内容でした。中でも特に印象に残っているのは次の言葉でした。

- ・愛されること
- ・褒められること
- ・役に立つこと
- ・必要とされること

が大事であり、それには次の通り「おーいあくま」が重要です。

- ・おごらない(驕らない)
- ・いばらない(威張らない)
- ・あきらめない(諦めない)
- ・くさらない(腐らない)
- ・まけない(負けない)

### 自治会だより

#### 大きく変わった自治会

小多田三区自治会長 松本 登喜雄

私たちの集落は、昭和58年、小集落移転事業により全戸移転によって集落の姿は大きく変わりました。又、国道372号線の整備もされ、自治会員の所在地も小多田京町、池上、西八上と地域も広範囲にわたり自治会が形成されています。昔の姿の記憶もだんだん薄れ、新しい生活環境になじんできています。

現在、戸数36戸(未成年のいる家庭3軒)、85名が暮らしています。農家戸数13戸、非農家23戸となり農家においても後継者がいない深刻な状況であります。現在乳幼児2人、小学生0人、中学生1人、高校生2人、まさに少子高齢化社会のど真ん中です。そんななかでも1年の事業として年3回のクリーン活動、春秋の排水路掃除、国道沿いの花植え替え、11月には紅葉まつり、1月のとんどを行っています。

この10年間の活動として小多田三区里づくり計画をたて、地区内にある公園の再整備に取り組み、



小多田3区公民館



国道の植栽



高城会館

この言葉を、今後の私の人生の教訓として、いつまでも心にとどめておきたいと思っております。